



Japanese Aerospace Quality Group

IAQG 9100:2009

(JIS Q 9100:2009)

Frequently Asked Questions

(FAQ's)

よくあるご質問とその回答集 - 2011/10/6

注意事項:この資料は、IAQG の Web サイトに掲載されている
FAQ's の資料を翻訳／一部補足したものであり、JIS Q 9100:2009
改正版(2009年4月発行)と同じ表記とは限りません。

翻訳・編集: JAQG 規格検討ワーキンググループ

はじめに

IAQGが作成した9100:2009(国内ではJIS Q 9100:2009)の展開及び維持を促進するため、国際航空宇宙品質グループ(IAQG)に設置された9100チームは、規格の使用者のために、よくある質問とその回答集(FAQ's)を作成しました。このFAQ'sは、新たな質問が寄せられた場合に更新される予定です。

一般

■ 9100 規格の目的は何ですか？

- ・ 9100 規格は、品質マネジメントシステム要求事項であり、サプライチェーンの全てのレベルで使用されることを意図しています。その使用によって、品質、スケジュール及びコストのパフォーマンスの改善をもたらすことができます。この規格は、主に航空、宇宙及び防衛業界向けに作成されていますが、他の産業界においても使用することができます。

■ 9100 規格を更新する責任は、誰にあるのですか？

- ・ 国際航空宇宙品質グループ(IAQG)が 9100 規格の作成・維持の責任を負います。詳細については、IAQG ウェブサイトから 9100 チームにお問合せください。

■ ISO 9001 本文と、9100 本文の違いはどうやって見分けることができますか？

- ・ 斜体(イタリック)、かつ太字の部分が、航空、宇宙及び防衛分野に特有の追加事項です。

■ IAQG 及び発行された規格についての詳細情報は、どこにありますか？

- ・ IAQG (International Aerospace Quality Group:国際航空宇宙品質グループ) のウェブサイトでご覧いただけます。 <http://www.iaqg.sae.org/iaqg/>
- ・ JAQG(Japan Aerospace Quality Group:航空宇宙品質センター)のウェブサイトでご覧いただけます。 <http://www.sjac.or.jp/jaqq/>

■ IAQG が作成する品質規格を適用するメリットは何ですか？

- ・ IAQG メンバーは、IAQG の規格を組織内及び供給者と共に使用することについて合意しています。
- －ワンボイス(全員一致), バラツキの最小化, 資源の共有, 重複とムダの削減
- －サプライチェーン及びステークホルダー全体にフォーカス
- －世界規模での航空宇宙業界における協力及び統一
- －高品質、低コストの実現
- －顧客独自要求文書の最小限化
- －第三者認証システム
- －認証された供給者のデータベース共有(OASIS)
- －監督官庁による認識
- －“ベストプラクティス”公開共有
- －プライム及び供給者の品質保証部長/品質担当役員(Vice President)クラスとのネットワーク
- －迅速な合意及び展開

9100:2009 改訂

■ なぜ 9100 規格を変更するのですか？

- ・ 9100 規格は、次のようなニーズを取り込むために改正されました。
 - ISO9001:9008 変更事項の取り込み
 - 防衛分野向け陸・海のシステムを含め、適用範囲の拡大
 - IAQG戦略(On-time, On-Quality Performance)への整合
 - ステークホルダーのニーズに基づく新しい要求事項の追加
 - ステークホルダーのニーズにより、9100現行版の要求事項の明確化(含む、文書化された手順の要求)の改善

■ ISO 9001 の変更は 9100:2009 に影響しますか？

- ・ はい。9100 規格は、ベースラインとして使用されている ISO 9001:2008 の変更に合わせて更新されました。ISO 9001:2008 変更事項は、追補改正であり、本質的にマイナーなものとなされています。

■ 9100 改正版に対してインプットするのは誰ですか？

- ・ 9100 チームはステークホルダーからのインプットを要求しました。ステークホルダーには、IAQG 及び各セクターのメンバー会社、IAQG 各ワーキング

グループ、サプライヤ(供給者)、航空当局、認証/認定機関、防衛産業及び関係当局、宇宙産業及び関係当局と業界団体を含みます。

■ 9100 規格の変更を決定するため、どのようなプロセスが使用されたのですか？

- ・ 9100 チームは、次のように改正に必要なインプットを求めるため、また改正プロセスを管理するために、以下に示すプロジェクトマネジメントのアプローチを採用しました。

・プロジェクトマネジメント

規格設計仕様書、IAQG 戦略、9100 規格の目的、ステークホルダーからのインプット、Web 調査からのインプット

・データマイニング(*)および集約

MCRT(Master Comments Review Template: マスターコメントレビュー様式)を使用して 400 以上のコメント及び提案を収集しました。

*: 大量のデータから出現性の高いキーワードを見つけ出し関連性を整理する手法

・レビュープロセス

IAQG チームによる、規格設計仕様書を基にした提案のレビューを行いました。(提案のおよそ 40%を採用)

・ドラフトのコーディネート及び票決

これまでの活動をまとめると以下のとおりです。

2007 年 7 月 原案発行、2007 年 10 月 9100 チームレビュー、2007 年 11 月 非公式のコーディネーションドラフト発行、2008 年 4 月 ステークホルダーのコメントレビュー、2008 年 5 月 正式なバロット(議決投票)ドラフト発行、2008 年 10 月 議決投票; 2009 年 1 月 AS9100/EN9100 改正版発行(補足: JIS Q 9100 改正版は、2009 年 4 月発行)

■ 監督官庁に関連する要求事項はどうなりますか？変更されるのでしょうか？

4.1(品質マネジメントシステム一般要求事項)において、すべての適用される法令・規制上の品質マネジメントシステム要求事項は、組織の品質マネジメントシステムで取り扱うことが追加されました。これによって、従来各章(箇条)にあった監督官庁に関連する詳細の要求事項は一部削除されました。

■ 9100:2009 の主な変更事項に関する詳細は？

- ・ 7.1.1 プロジェクトマネジメント一体系化され、管理された方法で、製品実現の計画及びマネジメントを行うための新しい要求事項です。
- ・ 7.1.2 リスクマネジメント—プロジェクト及び製品に適用されるリスクマネジメントプロセス(含む、責任・基準・軽減及び受容)の実施に関する新しい要求事項です。サプライチェーンマネジメントハンドブック(SCMH) 11.2 章リス

クマネジメントに記載されており、次のアドレスよりアクセスできます。
<http://www.sae.org/iaqg/handbook/scmhtermsfuse.htm>

- ・ **7.1.3 形態管理(コンフィギュレーションマネジメント)**—4.3 項から 7.1 項へ移動し、より詳しい実施内容を追加しています。サプライチェーンマネジメントハンドブック(SCMH) 11.3 章 形態管理(コンフィギュレーションマネジメント)に記載されており、次のアドレスよりアクセスできます。
<http://www.sae.org/iaqg/handbook/scmhtermsfuse.htm>
- ・ **7.1.4 作業移管の管理**—7.5.1.4 項 (製造)から 7.1 項へ移動し、作業移管を計画・管理するプロセス確立の必要性を追加しています。サプライチェーンマネジメントハンドブック(SCMH) 11.1 章 作業移管に記載されており、次のアドレスよりアクセスできます。
<http://www.sae.org/iaqg/handbook/scmhtermsfuse.htm>
- ・ **製品品質及び納期どおりの引き渡しに関する成果を含む実施状況**
—“製品の適合性”及び“納期どおりの引き渡し”(on-time delivery)の測定、並びに計画どおりの結果が達成できない場合の適切な処置について要求事項を追加しています。これは、QMS と組織のパフォーマンスの関係をもたせるためです。
- ・ **特別要求事項、クリティカルアイテム及びキー特性の管理を行うために要求されるプロセス** - キー特性の要求事項に変更はないですが、(顧客から又は組織において)特別要求事項を明確化するというコンセプトを追加しました。特別要求事項は、追加の管理(例えば、リスクマネジメント)を要求し、クリティカルアイテムとして導き出されるものがあり、また、その一部には、ばらつきを管理するためにキー特性として識別されるものがあります。サプライチェーンマネジメントハンドブック(SCMH) 3.2 章 特別要求事項及びクリティカルアイテムに記載されており、次のアドレスよりアクセスできます。
<http://www.sae.org/iaqg/handbook/scmhtermsfuse.htm>
- ・ **顧客満足データの正式なモニタリング**—データをモニターし、課題を解決するための改善計画を作成する要求事項を追加しました。これは、製品及び顧客満足度の継続的改善を促進するためです。

■ キー特性、特別要求事項、クリティカルアイテムの違いは何ですか？

- ・ **特別要求事項**
その達成には高いリスクを伴うため、リスクマネジメントプロセスの対象としなければならない要求事項です。
- ・ **クリティカルアイテム**
製品実現及び製品の使用に重大な影響を与えるアイテムであり、適切な管理を確実にするため特定の処置が必要なアイテムです。これには、キー特性も含まれます。
- ・ **キー特性**
そのばらつきが、製品の取付け、形状、機能、性能、耐用年数又は製造

性に重大な影響を与え、ばらつきを管理するために特定の処置が必要な属性又は特性です。

■ 初回製品検査 (FAI) の項目が 7.5.1.1 へ移動し、項目名が変更になったのは、なぜですか？

- ・ 製造プロセスの検証 (FAI) は、製造プロセス、製造文書及び治工具の妥当性確認を行い、必要な場合 (例えば、技術変更、製造工程変更) に繰り返し実施しなければならないという要求事項です。8.2.4.2 (測定) から 7.5.1.1 (製造) へ移動・変更した理由は、FAI は製品実現活動の後に実施する監視・測定ではなく、製品実現活動の一部であるためです。

■ 以前の IAQG9100 で 7.5.1.1 及び 8.2.4.1 にあった文書に関する要求事項はどうなりましたか？

- ・ 以前の 9100 の項目 7.5.1.1 製造文書の要求事項は、今回改訂された項目 7.5.1 の中に含まれました。同様に、以前の 9100 の項目 8.2.4.1 検査文書の要求事項は、今回改訂された項目 8.2.4 に含まれました。

■ ISO10007 が形態管理 (コンフィギュレーションマネジメント) の後で参照されていますが、それは要求されているのですか？

- ・ いいえ。ISO10007 は参照のみで、箇条書きの項目にある形態管理 (コンフィギュレーションマネジメント) に関する追加情報を得ることができるため注記として記述しています。

■ 主な変更事項についての情報はどこで入手できますか？

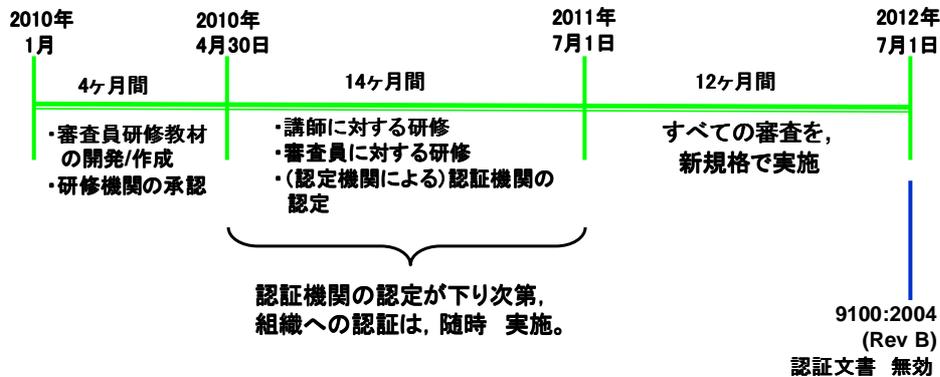
- ・ IAQG ウェブサイト (<http://www.iaqg.sae.org/iaqg/>) にアクセスしてください。
- ・ 次に 9100 Deployment Support Material にアクセスすると、IAQG の作成した資料 (英文) がご覧になれます。

登録

■ 9100:2009 への移行期間はどのくらいですか？

- ・ 組織が 2010 年 1 月から新しい 9100:2009 へ移行するまで、30 ヶ月猶予があります。認証取得会社は、計画された認証審査の周期の中で移行することが推奨されます。

30ヶ月間の移行スケジュール



■ 審査員及び認定機関のトレーニングは利用できるようになるのですか？

- ・ はい。9100 及び 9101 の改正内容に対する認可された航空宇宙審査員移行トレーニング(AATT)を IAQG で実施中です。

■ 新しい 9100, 9110, 9120 及び 9101 の規格は、どこで入手できますか？

- ・ 各国/地域に規格発行機関があり、それぞれ規格発行スケジュールが異なります。規格発行機関については次を参照して下さい。
 - － SAE (アメリカ): <http://aerospace.sae.org/>
 - － ASD (ヨーロッパ): <http://www.asd-stan.org/>
 - － SJAC (アジア・パシフィック): http://www.sjac.or.jp/en_index.html

■ 弊社は現在 9100 規格の認証を取得していますが、改正版の適用に関する記述によると、9110 規格の認証が望ましいと理解できます。これは、9100 規格から 9110 規格へ認証を変更しなければならないことを意味しているのでしょうか？

- ・ もし、ある会社が 9100 規格に追加して 9120 規格（流通業者向け）又は 9110 規格（整備業者向け）といった他の品質マネジメントシステム規格を必要とする場合、追加の認証要求は、顧客及び規制上の要求事項に従って決定されることが望ましいです。また、貴社の製品がいくつかの規格の適用範囲を網羅する場合、複数の規格の認証取得が必要となるかもしれません（即ち、製品を製造し、また整備サービスも実施するような会社。）。1.2(適用)では、9100, 9110 及び 9120 規格に対する適用に関して、新たに追加した概要を説明しています。

■ 4.2.2 品質マニュアルとの関連の規定が削除されたのは、なぜですか？

- ・ 9100 規格の要求事項と組織の文書化された手順との関連を明確にするこ

との要求事項は、現行の ISO 本文に対して、製品品質の保証に付加価値を与えないという見解から削除しました。9100 規格の使用者は、審査(監査)を受ける上で当然確認する一つの要素として、該当する文書化された手順を明確にする必要があります。また、この規格の要求事項と文書化された手順との関連を示すための他の方法も考えられ、同じ結果を得られるための他の手段も考慮すべく柔軟に対応する必要があることから、削除しました。

■ 9100 規格で用いられている用語の定義は、どこで調べることができますか？

- ・ (IAQG ウェブに掲載される)IAQG 用語辞典を使用すれば、ISO 9000:2005 から引用した定義を含め、幅広い用語の定義を調べることができます。なお、9100:2009 は、規格に定義を新しく追加する代わりに、これら用語辞典の情報を使用しています。

以上